

発達障害・情緒障害通級指導教室 自立活動学習指導案

令和〇年〇月〇日(〇)第〇校時
 場所：通級指導教室
 指導者：〇〇 〇〇

- 1 単元名 「自分の取り扱い説明書を作成しよう」(自立活動)
- 2 対象生徒 3年男子A
- 3 生徒の実態 ※個別の指導計画参照

4 指導にあたって

様々な特性や困難を抱えて生徒達は通級指導に通ってきている。生徒達は「変わりたい。」「少しでも力をつけたい。」と、通級に通うことを自分で決めて入級している。通級指導教室での指導においては、生徒との信頼関係を築くことを一番に考え、その信頼関係のもと、個々に応じた指導を『自立活動』を中心に行っている。通ってきている生徒達は、社会・生活のスキル不足、他者とのコミュニケーションや、計画や見通しをもって行動に移すことが苦手等様々な課題を持っている。通級指導教室での指導は基本は個別指導であるが、これらのような課題が見られることから、今年度はグループ活動によるコミュニケーション活動、調理実習を取り入れ、1学期に2年生男子3名で、交流や協議を取り入れた活動を行った。

本校に通級指導教室が設置されて2年目となる。生徒達を観察していると〇見通しが持てない、時間の管理ができない〇コミュニケーションの取り方がわからない〇人との適切な距離感がわからない〇こだわりがあり、次に進めない〇他者視点がない〇自分の思いが適切に表出できない、わからない等の課題をそれぞれが抱えている。また、〇手首が固い〇姿勢が保持できない〇身のこなしが悪い〇手先がうまく使えない等の課題も見られる。粗大運動ができないと手先を上手に使うことは難しい。体幹が整い身のこなしがよくなると、活動の幅が広がり自信がついてくると考えられる。生徒一人ひとりに応じて認知機能や処理速度等を高めるコグトレは行っている。また、6月下旬から気持ちを落ち着かせるための瞑想の時間(3分間)を設けている。2学期からはストレッチポールを使った〇ストレッチ運動〇体幹トレーニングも行い始めた。「体が緩んで気持ちがいい。」「姿勢がよくなる気がする。」と言う生徒もいる。常に緊張して身体が固くなっている様子が見られる生徒もいるので、身体がほぐれると心もほぐれる感覚も味合わせたいと思っている。

通級指導教室では、心の安定を土台として①自己理解を進める(特性理解も含む)②生活の質を上げる(生活のスキル、コミュニケーション能力、身体と手の動きを高めるなど)③読む・書く・伝える力の3つの柱を中心に自立活動の中で指導を行っている。指導や生活の中の小さな変化や努力を見逃さずに評価し認めることにより、自尊感情が高まると考えている。また、担任の先生、学年の先生方と連携を取ることで「通級で培った力」を学校生活の中で発揮できるように指導を行っていきたい。

5 指導目標

Aさん

自立活動	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
指導目標を達成するために必要な項目の選定	(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事 (4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事	(2)状況の理解と変化への対応に関する事	(2)他者の意図や感情の理解に関する事 (3)自己の理解と行動の調整に関する事	(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	(2)言語の受容と表出に関する事 (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事
具体的な姿	〇睡眠など健康状態の維持・改善に必要な生活のリズムを身に付けること、食事や排泄などの生活習慣の形成を図ることができる。 〇自己の障害の特性の理解を深め、自ら生活環境に主体的に働きかけ、より過ごしやすい生活環境を整えることができる。	〇場所や場面の状況を理解して心理的抵抗を軽減したり、状況を理解して適切に対応したりすることができる。	〇他者の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動をとることができる。 〇自分の得意なことや不得意なこと、自分の行動の特徴などを理解し、集団の中で状況に応じた行動ができる。	〇自分に入ってくる情報を適切に処理することができるようにするとともに、自己の特性について理解し、適切に対応できる。	〇作業の巧緻性や持続性の向上を図ることともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	〇相手の意図を受け止めたり、自分の考えを使えたりするなど、言語を受容し表出することができる。 〇場や相手に応じて主体的にコミュニケーションをとることができる。

(1) 2学期の目標 (短期目標)

Aさん

- ・計画、見通しをもって行動に移すことができる。
- ・自己の特性理解を進めていくことができる。
- ・他者視点を持ち、生活や社会のスキルについて考えることができる。

(2) 単元の指導計画

1時間の学習の流れ→→→					
	1	2	3	4	5
学習活動	・活動の見通し ・状況の理解	・コグトレ関係 ・スピーチ等	・学習の課題 「自分の取り扱い説明書を 作成しよう」	・気持ちの 切り替え	・振り返り ・次時への 見通し
1回 (本時)	挨拶・学習予定 前回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・コグトレ棒 キャッチ左④ ・スピーチ② 「校内音楽会に 向けて」	「自分の特性を見つめてみよう」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
2回	挨拶・学習予定 前回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・受検作文 ・コグトレ棒 キャッチ左⑤	「自分の強み・活用するために大切なこと」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
3回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・さがし算⑤ ・体幹トレーニング	「自分の弱み(不得意なところ)困りごと」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
4回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・受検作文 ・体幹トレーニング	「周りの人に知ってほしいこと 自分で気を付けると能力アップすること」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
5回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・コグトレ棒 キャッチ⑥	「対策とお願い」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
6回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・受検作文 ・体幹 トレーニング	「今の自分に掛けてあげたい言葉」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
7回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・体幹 トレーニング ・さがし算⑦	「今の私が10年後の自分に手紙を書く」	リラックス タイム	振り返り 挨拶
8回	挨拶・学習予定前 回の振り返り 一週間の報告 スケジュールの 確認	・体幹 トレーニング ・さがし算⑧	「表紙を貼る 本にする作業 取り扱い説明書が完成して思うこと」	リラックス タイム	振り返り 挨拶

6 指導観

本授業は、①自分の思いや考えを整理する②自分の思いや考えを伝えたり相手の話を聞いたりする③「自分の取り扱い説明書を作成（導入）」をしていくことを柱として指導する。昨年度の指導の中で「自己を見つめる内容」は様々な場面で指導している。担当教諭は意図的に指導をしているが、生徒は自分のつけた力や指導内容を言える生徒は少ない。そこで昨年の指導内容で「取り扱い説明書」に使えるような資料は担当が保管している。個別で指導できることは通級指導の良さのひとつである。本時は「取り扱い説明書」の導入である。生徒は自分のできない部分に目が向きがちなので、始めに自分の強みに目を向けさせていきたい。

(1) 学習予定

本時に何をやるかを知ることにより、見通しをもたせながら、安心して活動ができることをねらいとしている。また、指導を受ける前と後の自分の気持ちを書かせることにより、自分の気持ちを客観的に捉えられるようにしたい。

(2) 前回の振り返り、一週間の報告

前回の学習内容を確認し、本時の学習とのつながりを意識させることを目的とする。

スケジュール帳を活用して前回の通級指導教室からの一週間の予定や担当教諭に伝えたいことを報告する時間としている。伝えることを整理する力や振り返り、見通しをもつ力をつけていきたい。

(3) スピーチ

経験したことや自分の考えを2分間でメモを取り、1～3分間程度で相手を意識して伝えることを目的としている。相手のスピーチの良いところに気づき、良いことは取り入れたという思いも育てていきたい。通級担当も同じ条件で行う。

(4) コグトレ（認知機能強化トレーニング・宮口幸治「さがし算」「コグトレ棒キャッチ」）

記憶しながら素早く計算することで注意力と処理速度の向上を目指す。このトレーニングは計算スピードを上げる以外にも、テストで問題を解いて出た答えを解答用紙に書き写す場合、転記ミスを減らすことにも役立つとされている。生徒につけたい力を考えながら意図をもって取り組ませている。コグトレ棒キャッチは、宮口氏が提唱しているトレーニングのひとつである。二人で気持ちを合わせ、相手が投げたコグトレ棒をキャッチしあう活動である。身のこなしが悪い、集中力が続かない、握る力が弱い等の課題がある生徒も楽しく取り組んでいる。

(5) 1分間スピーチ

経験したことや自分の考えを2分間でメモを取り、1分～3分程度で相手を意識して伝えることを目的としている。相手のスピーチの良いところに気づき、良いことは取り入れたという思いも育てていきたい。

(6) 「自分の取り扱い説明書をつくろう」

通級指導の柱のひとつである「特性理解」を進め、深めるための指導である。入級年数は生徒によって2年から3年の生徒がいるが、通級指導を受ける中で自己を見つめてきている。3年生は特性理解の集大成として「自分の取り扱い説明書」を作成していく。作成は、担当と生徒が話をしながら書き進めていく。互いに話をしていく中で、新しい発見もある。自分の「強み」から考えていきたい。受検期の3年生は、気持ちも不安定になることもある。「強み」のみに目を向けるのではなく、自分の弱さやふがいなさから目を逸らさずに、受け止める活動も大切にしていきたい。弱さやふがいなさを含めて自己を受け止めていけることが自己肯定感をもてる上で大切なことだと考えている。表紙は、生徒が好きな写真を貼り、本のように仕上げていく。

(7) リラックスタイム 「スピード(トランプ)」

ゲームやコミュニケーションカードを用いながら、自然な会話をする経験をさせたいと考えている。また、生活の中でリラックスできる時間を持つことの大切さも指導をしているところである。コミュニケーションを取りながら楽しく行っていきたい。

(8) 振り返り

自己評価して自己を見つめさせる。通級指導教室の指導では振り返りを大切にし、日々の指導を積み重ねながら、自尊心を下げずに学校生活が送れることへつなげたい。自分で自分の心の状態を把握できる力も大切なスキルのひとつである。

7 本時の学習指導

(1) 目標・評価

目標

- ・自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりしながら、コミュニケーションをとることができる。 【3-(2)・6-(3)】
- ・取り扱い説明書を作成していく意味（導入）と「自分の強み」について、現在の自分からこれまでの自分を振り返って考えることができる。 【6-(2)】

(2)展開

学習活動	学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 指導上の留意点 ◆評価 →支援 【課題確認】 【振り返り】 【つなぎ】
1 始めのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちの切り替え 相手意識 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の号令で、正しい姿勢で相手を意識して挨拶する。
2 本時の学習の見通しをもち、学習のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもつこと 学習のねらいの把握 	<ul style="list-style-type: none"> 何をどのような順番で行うのか、見通しがもてるように予定を丁寧に視写する。 →学習前の気持ちの状態を10段階で記入することにより自分の気持ちを客観視できるようにする。 授業のねらいも説明する。【課題確認】
3 前回の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 前回の学習の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の学習内容を確認することで、今日の学習がどのようにつながっているかを意識させる。
4 一週間の報告をする。	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール帳の活用 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール帳を活用しながら、一週間を振り返り、報告する。 →報告することで「情報を整理する力」「伝える力」をつけていけるようにする。 ◆スケジュール帳を用いて一週間の出来事を整理したり、相手に伝わるように報告したりすることができたか。
5 「校内音楽会について」スピーチを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをメモに書くこと 自分の考えのメモを元に整理して話すこと 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の話したいことを、2分間でメモに起こしたり話す順序を考えさせたりする。 →自分の考えを整理して1分間～3分間以内で相手に自分の思いを伝えることができるようにする。 →担当教師も一緒にスピーチに加わることで、楽しんだり共有したりする。 ◆自分の考えを伝えたり、相手のスピーチを聞いたことができたか。
6 コグトレ棒を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 体の動かし方 相手意識 	<ul style="list-style-type: none"> 相手がキャッチしやすいようにコグトレ棒を投げる。 →失敗したら「ごめん。」相手が失敗したら「ドンマイ。」と声をかけることをルールとする。 →「投げる」「握る」「スピード」と、気を配る要素がある。楽しみながら取り組む。 ・3分間の中で、何回キャッチできるかカウントする。落とした時点でまた1からカウントしていく。記録を取っていく。
7 「自分の取り扱い説明書」をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 特性理解の必要性 相手意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・「特性理解」中学校通級指導教室の指導の一番核となる指導である。 ・個別の指導のよさを活かしていく。 →互いに話をしていく中で、生徒の表現できない思いや考えをこちらが言語化していく。 →生徒の思いや考えを受け止めていき、表現できた時は見逃さずに、認めていく。 ◆これから「取り扱い説明書」を作成していきたいという気持ちをもつことができたか。
8 リラックスタイムをする。「スピード」	<ul style="list-style-type: none"> 自己開示 相手意識 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュの仕方は、個人で違うがゲームやネット視聴以外にもリフレッシュできる方法はたくさんあることを知る。 ・互いに新しい発見がありリラックスした中で、自由に会話を楽しむ。

9 学習のまとめをする。	・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・学習後の気持ちの変化を10段階で記入する。 ・学習したことを受けて自分の思いやつけた力について書かせる。 ◆学習後の自分の気持ちを見つめ、今日の学習の感想を表現することができたか。 ・本時の学習内容を振り返り、次時への意識づけを行う。 【振り返り】 【つなぎ】
10 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢 ・適切な声の大きさ、調子、視線 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で、号令に合わせて挨拶ができるようにする。

(3) <板書計画>

<p>今日の学習の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 前回の振り返り 一週間の報告 3 1分間スピーチ 「校内音楽会について」 4 コグトレ棒キャッチ 5 「自分の取り扱い説明書を作成しよう」① 6 リラックスタイム 「スピード」 7 振り返り
--

8 評価

- ・自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、コミュニケーションをとることができたか。
- ・これから「取り扱い説明書」を作成していこうという気持ちをもつことができたか。